あさひむら としょかん新聞

村立朝日村図書館発行
2021年11月1日
（第8号）

11月

12月には「クリスマス会」を予定しています♪

「十一月の祝日」

十一月の祝日は「文化の日」と「勤労感謝の日」ですね。どんな祝日なのか由来や意味を考えたことはありますか？ただの休日ではない祝日に注目してみましょう。

文化の日は「自由と平和を愛し、文化をすすめる」ことが趣旨の国民の祝日です。しかし、もともとは明治節（明治天皇の誕生日）だったため…もあるそうです。明治節の話を知っている人は最近では少なくなってきているのではないでしょうか。

次に勤労感謝の日ですが「勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日」として法律で定められていますが、もともとは新嘗祭という五穀豊穣を感謝する祭日でした。新嘗祭は日本書紀にも記載があり、古くから天皇家に伝わる伝統行事です。

ではなぜ「新嘗祭」が「勤労感謝の日」に変わったのでしょう。それは、戦後GHQの考えにより、天皇が関わる祭日は、祝日として取り扱わなくなり廃止となったからです。「勤労感謝の日」は「新嘗祭」が祭日として廃止になった代わりに、設けられることになった祝日なのです。ちなみに、新嘗祭は行事として今でも宮中や神社などで行われています。そしてなぜ「勤労感謝の日」という名前になったかは様々な説があるそうです。興味のある方はぜひ調べてみてください。

知る機会を持つことは、個々の文化レベルの向上につながりますね。そんなことも考えながら文化の日を過ごすのはいかがでしょうか。

今月のテーマ「ずかんいろいろ」

様々な専門の知識が載っている図鑑ですが、調べものがあるときぐらいしか手に取ることがないのでは…？？

ジャンルもいろいろ、眺めているだけで楽しくなる図鑑を集めてみました。

名字の図鑑、落ち葉の図鑑、お姫様図鑑etc.あなたはどの図鑑から楽しみますか？

「文字が読める」ことと「本を読むこと」

子どもが小さい頃は、文字の読めないわが子に絵本の読み聞かせを当たり前のようにしていた保護者の方も、子どもがある程度文字を読めるようになってくると、絵本の読み聞かせは卒業？と思うかもしれません。でも、文字が読めるのと、本が読めることは、別のようです。

自分で字を読むことと、耳で聞くのは違った体験で、それぞれが子どもにとっては大切なのです。また、子どもが文字を読めるようになったからといって、絵本のおはなしを楽しめているとは限りません。

お子さまが「読んで」と言ってくるうちは何歳になっても読み聞かせをしてあげてください。小学生になると、読み聞かせをやめてしまうご家庭が多いようですが、小学生には小学生の読み聞かせの楽しさがあるようです。

☆次回☆　『ひとり読みの楽しさを知ってもらうためには？』です

令和3年度上半期ベストリーダー

【一般小説】
「臨床の砦」 夏川草介・著　小学館

【一般その他】
「74歳、ないのはお金だけ。あとは全部そろってる」 ミツコ・著　すばる舎

【児童小説】
「劇場版 鬼滅の刃 無限列車編ノベライズ」
吾峠呼世晴・原作　矢島綾・小説　集英社

【絵本】
「ちゅるちゅる」 視覚デザイン研究所・著

【まんが】
「はたらく細胞」 清水茜・著　講談社

【視聴覚資料】
「三人の騎士」 世界名作アニメ

文化祭

先月行われた「朝日村文化祭」へご来場いただいた皆さんありがとうございました。

図書館では毎年恒例の中古本プレゼント会や、オリジナルのおばけの絵の展示、こども新聞から出題したクイズなど、多くの方に参加していただくことができました。

特におばけの絵は応募総数88作品と、多くの作品が集まりましたので、優秀作品が多数あり、予定していなかった佳作を設けることにしました。

こども新聞クイズは、活字から遠ざかっている子どもたちへ向けたメッセージです。新聞を読むことによって世間の状況を知り、様々な知識を得てほしいという図書館からの願いが込められていました。遊びや、楽しみの中から自然に新聞や本に親しんでほしかったのです。

こども向けの新聞は図書館に2紙あります。興味のある方はぜひ図書館へお越しください。

今月の催し物

▶朝日村図書館（☎99－1007）
「ずかんいろいろ」
11月28日(日)まで

▶朝日美術館（☎99－2359）
「あ、火の見櫓！」
10月17日(土)～11月7日(日)　9時～17時

▶朝日村観光協会（☎87－1935）
「茶室deブックトーク」 テーマ“元気をもらったこの1冊”
11月3日(水)祝日　13時～16時　※雨天一部変更